自助

自分の身は
自分で守る

・災害の前兆や身の危険を感じたら、早めの自主避難を心がけましょう。
・食料や飲料水、生活必需品などの家庭内備蓄(最低3日分)をしてください。

7割

共助

自分たちのまちは
自分たちで守る

2割

・地域で安否確認をしてください。もし逃げ遅れた人や、被災している人がいたら協力して救助してください。
・避難所では、避難者同士が協力し合いましょう。

1割

公助

行政機関等が守る
(消防、警察、自衛隊など)

・災害発生時に消防や警察、自衛隊などの公の機関による救出・救助活動。

大規模な災害が発生した場合は、警察・消防などの公的機関による「公助（救助活動や支援など）」には限界があります。そのため、自分の身は自分で守る「自助」や自治会・自主防災組織などによる「共助」の取組が重要になります。

避難情報はこのように伝えられます

災害発生の恐れがある場合は、防災行政無線や広報車、登録制メール、緊急速報メール、テレビ、インターネット等で、市民のみなさんや各施設へ向け、避難情報が伝達されます。

気象庁
気象情報
大雨洪水情報・注意報 等

国土交通省・埼玉県
水防情報
河川情報・雨量 等

行田市災害対策本部
高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保

テレビ・インターネット

広報車 / 警察・消防署 消防団 / 防災行政無線 / 登録制メール / 緊急速報メール / 情報提供

市民のみなさん

警戒レベル	みなさんのとるべき行動	緊急度
5 緊急安全確保	□ すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です。 □ 命を守る最善の行動をとりましょう。	高
4 避難指示	□ 危険な場所から全員避難しましょう。 □ 避難先までの移動が危険だと思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難しましょう。	
3 高齢者等避難	□ 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。 □ その他の人も避難の準備を整え、早めの避難が望ましい場合には自主的に避難を始めましょう。	
2 大雨・洪水注意報（気象庁）	□ 避難に備え、自らの避難行動を確認しましょう。	
1 早期注意情報（気象庁）	□ 最新の気象情報を確認し、災害への心構えを高めましょう。	低

避難の心得

避難時に必要となる様々な心得を知っておきましょう！

避難の呼びかけに耳を傾ける

危険が迫ったときは、テレビやラジオ、広報車や防災行政無線などからの避難の呼びかけに注意しましょう。

身を守る格好で避難する

動きやすい服装で、軍手をはめ、ヘルメットをかぶり、長靴より紐で締められる運動靴かトレッキングシューズをはきましょう。レインコートは上下が分かれているタイプがよいでしょう。

電気・ガス・戸締りを確認する

避難する時は、電気のブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、床下の通気口などをふさぎ、戸締りを確認しましょう。

車で避難しない

車での避難は、歩行者・緊急車両の妨げとなります。また浸水すると、車は動かなくなるので使わないでください。

地下から素早く地上へ避難する

地下空間へは水が勢いよく流れ込み、水圧でドアが開かなくなる場合もあるため、できるだけ早く地上へ避難しましょう。

高い場所に避難する

洪水の場合、歩ける深さは 約５０cmまで。それ以上になったら建物の２階以上、または屋根の上で救助を待ちましょう。

流れやすいものは屋内に移動する

ポリタンクなど軽いものを屋外に置いておくと、浸水によって流れていってしまうので、事前に屋内に移しておきましょう。

水面下の安全を確認しながら避難する

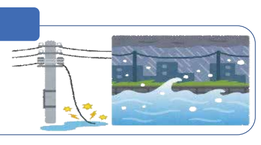
浸水した場所を歩く時は、長い棒を杖がわりにして、マンホールや側溝がないか水面下の安全を確認しながら歩きましょう。

室内に水が入らないよう対処する

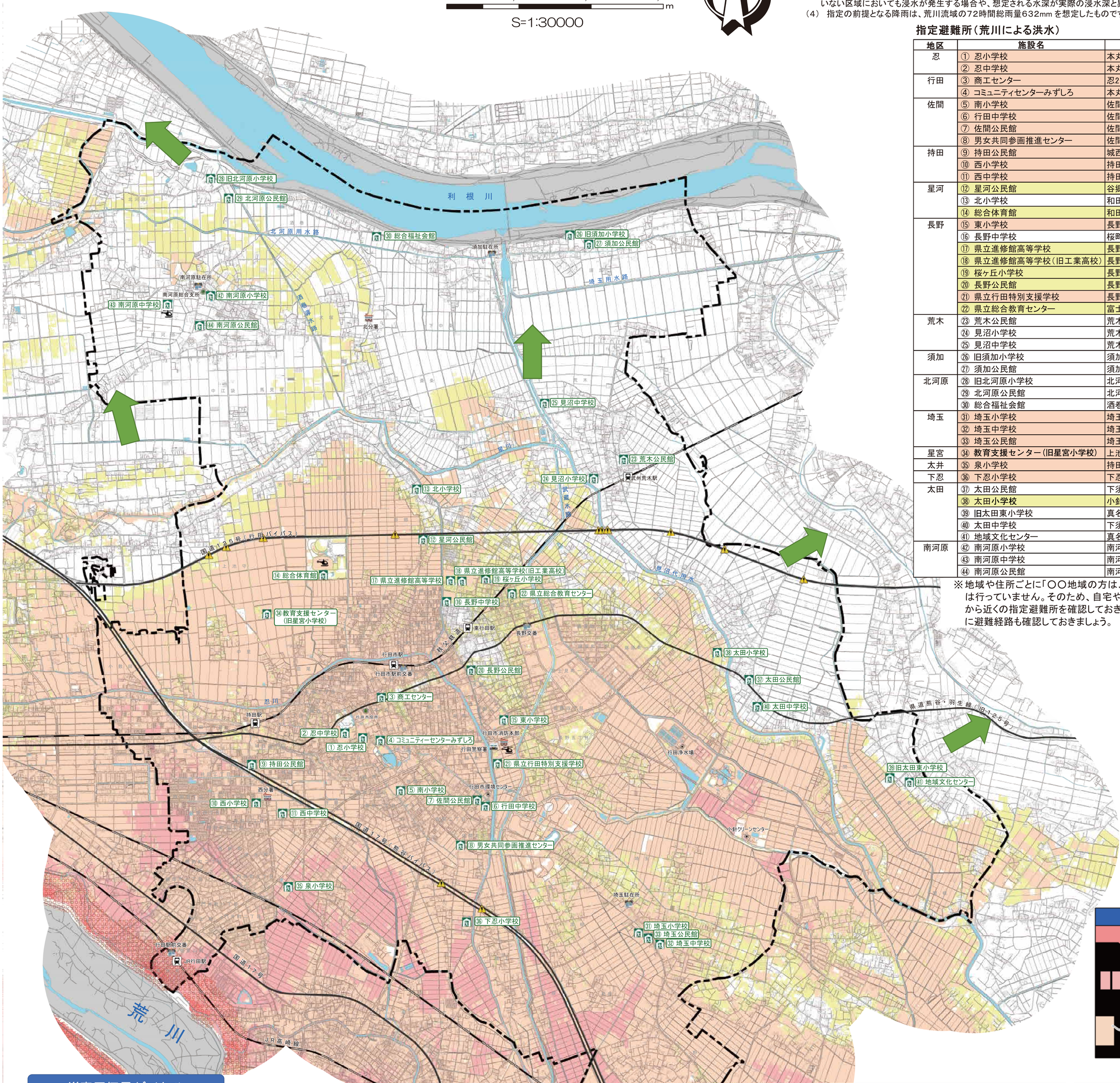
扉の下の隙間から水が入ってくるので、「水のう」や「土のう」「板」などで前面を囲み、「タオル」で隙間をふさぐとよいでしょう。

危険な場所を避け、はん濫水は触らない

切れた電線のそばなど、危険な場所に近寄らないでください。
また、はん濫水には汚水が混ざっているため、子どもなどが触らないように気をつけましょう。



荒川　洪水浸水想定区域



荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

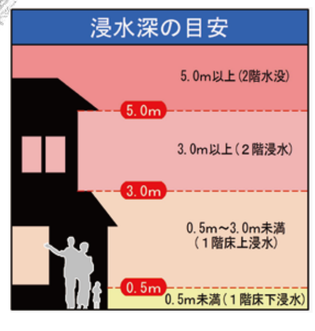
（1） この図は、荒川水系荒川の洪水予報区間について、水防法の規定により定められた想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
（2） この洪水浸水想定区域図は、現時点で荒川の河道及び洪水調整施設の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により荒川がはん濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより想定したものです。
（3） なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊によるはん濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨によるはん濫、高潮及び内水によるはん濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
（4） 指定の前提となる降雨は、荒川流域の72時間総雨量632mm を想定したものです。

指定避難所（荒川による洪水）

地区	施設名	住　所	電話(048)	使用可能階
忍	① 忍小学校	本丸7-20	554-5551	2階以上
	② 忍中学校	本丸18-6	554-9371	2階以上
行田	③ 商工センター	忍2-1-8	553-0510	2階以上
	④ コミュニティセンターみずしろ	本丸5-10	554-6797	2階以上
佐間	⑤ 南小学校	佐間1-25-4	554-5555	2階以上
	⑥ 行田中学校	佐間3-3-8	554-9196	2階以上
	⑦ 佐間公民館	佐間3-1-37	553-1478	2階以上
	⑧ 男女共同参画推進センター	佐間3-23-6	556-9301	2階以上
持田	⑨ 持田公民館	城西5-9-26	553-1415	2階以上
	⑩ 西小学校	持田3-5-9	554-5554	2階以上
	⑪ 西中学校	持田600	553-1434	2階以上
星河	⑫ 星河公民館	谷郷2082	553-1417	全階
	⑬ 北小学校	和田94-1	554-5521	全階
	⑭ 総合体育館	和田1242	553-3377	全階
長野	⑮ 東小学校	長野2-26-8	554-5553	2階以上
	⑯ 長野中学校	桜町2-1-55	554-2240	全階
	⑰ 県立進修館高等学校	長野1320	556-6291	全階
	⑱ 県立進修館高等学校（旧工業高校）	長野1354	554-2811	全階
	⑲ 桜ヶ丘小学校	長野1880	554-0681	全階
	⑳ 長野公民館	長野1-4-8	553-1414	全階
	㉑ 県立行田特別支援学校	長野4235	554-3302	2階以上
	㉒ 県立総合教育センター	富士見町2-24	556-6164	全階
荒木	㉓ 荒木公民館	荒木1111	557-3506	全階
	㉔ 見沼小学校	荒木1606	557-2183	全階
	㉕ 見沼中学校	荒木4892	557-2181	全階
須加	㉖ 旧須加小学校	須加4586	—	全階
	㉗ 須加公民館	須加4650-2	557-3507	全階
北河原	㉘ 旧北河原小学校	北河原1517	—	全階
	㉙ 北河原公民館	北河原1378	557-3508	全階
	㉚ 総合福祉会館	酒巻1737-1	557-5400	全階
埼玉	㉛ 埼玉小学校	埼玉4610-2	559-1000	2階以上
	㉜ 埼玉中学校	埼玉4143-1	559-4204	2階以上
	㉝ 埼玉公民館	埼玉4600	559-0047	2階以上
星宮	㉞ 教育支援センター（旧星宮小学校）	上池守47	—	2階以上
太井	㉟ 泉小学校	持田70	553-3181	2階以上
下忍	㊱ 下忍小学校	下忍2451	556-2404	2階以上
太田	㊲ 太田公民館	下須戸971	559-4299	全階
	㊳ 太田小学校	小針3521	556-2997	全階
	㊴ 旧太田東小学校	真名板955	—	全階
	㊵ 太田中学校	下須戸1164-1	559-3545	全階
	㊶ 地域文化センター	真名板1173-2	559-3051	全階
南河原	㊷ 南河原小学校	南河原782	557-0033	全階
	㊸ 南河原中学校	南河原1081	557-0131	全階
	㊹ 南河原公民館	南河原869	557-3188	全階

※地域や住所ごとに「〇〇地域の方は、〇〇避難所」というような割り振りは行っていません。そのため、自宅や勤務先など普段滞在している場所から近くの指定避難所を確認しておき、緊急時にすばやく避難できるように避難経路も確認しておきましょう。

浸水深の目安



災害用伝言ダイヤル

災害用伝言ダイヤルを活用しましょう！

大きな災害が発生すると、安否を確認する電話が被災地に集中し、電話がつながりにくくなります。家族や友人の安否を早く知りたいけど、電話がつながらない・・・、そんなときは、大規模災害時にサービスが開始される『災害用伝言ダイヤル「１７１」』を活用しましょう。

伝言の録音方法

1 7 1 にダイヤル
音声ガイダンスが流れる。
録音の場合は 1
音声ガイダンスが流れる。
被災地の人の電話番号を入力。
(X X X) X X X X-X X X X

伝言の再生方法

1 7 1 にダイヤル
音声ガイダンスが流れる。
再生の場合は 2
音声ガイダンスが流れる。
被災地の人の電話番号を入力。
(X X X) X X X X-X X X X

凡　例

- 指定避難所
- ヘリポート
- アンダーパス
- 消防本部・分署
- 警察署
- 交番・駐在所
- 避難方向の目安
  浸水が予想されていない場所への避難進路の目安を示しています。
- 主要道路
- 鉄道
- 行政界
- 市役所・支所
- 公共施設
- 駅

家屋倒壊等はん濫想定区域（はん濫流）

河川のはん濫が発生した場合に、標準的な木造家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。早めの避難を心掛けてください。

家屋倒壊等はん濫想定区域
家屋倒壊等をもたらすようなはん濫の発生が予想されます。